

カエルにとってもこわ〜い病気!

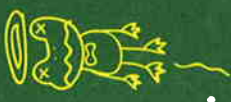
ツボカビって知ってる?



「ツボカビ」って病気は人やイヌ、ネコなどの動物、鳥や魚にはうつらない病気だよ。

ツボカビって? → カエルとかイモリなど両生類を殺してしまう病気です!

もし飼っているカエルやイモリが「ツボカビ」にかかっていたら…
「ツボカビ」にかかったカエルの水槽の水には「ツボカビ」菌がいます…。



…ということは? … → → →

「ツボカビ」にかかったカエルを逃がしたり、すてちゃったら…
その「ツボカビ」菌だらけの水を下水や川にすてちゃったら…

○月○日(○曜日) あめ

? …どうなっちゃうの? … → → →

「ツボカビ」にかかったカエルや、「ツボカビ」菌だらけの水は、下水や川を通じて自然のカエルたちを「ツボカビ」という病気にしてしまいます。身近に住んでいる貴重なカエルたちが全滅つしてしまうんだ!

これはゼッタイに防がなければなりません!
!!!

カエルたちからのお願いです!

- ほくたちカエルやイモリを飼っているお友だちはよ〜く観察してみてください!
- エサをあまり食べなかつたり、元気がなかつたりしていませんか?
- ほくたちの様子がおかしかったら、すぐお父さん、お母さんへ相談して動物のお医者さんにつれて行ってね!

「ツボカビ」にかかったカエルたち両生類は動物病院で治すことができます。必ず窓口にご相談してね!



ツボカビ 相談窓口
098(853)8001

お父さん、お母さんへ

沖縄でペットやエサとして流通するカエルから、「ツボカビ」が確認されました。世界中で琉球列島にしか生息しない両生類を守るために、適正な飼育と情報の提供をお願いします。

●ツボカビとは

「ツボカビ」は水を介して感染するカエルなど両生類の病気です。治療を受けることができない野生のカエルでは、感染すると90%以上が死に至り、1980年以降、世界中で多くのカエルを絶滅に追いやった恐ろしい伝染病です。人やイヌ、ネコなどのほ乳類、鳥類、爬虫類、魚類には感染しません。

●ツボカビが野外に拡散すると

琉球列島は、地球上でここだけにしかいない両生類が多く生息しています。万が一ツボカビが侵入すると、これらが短期間のうちに次々と絶滅するおそれがあります。カエルたちが絶滅すると、生態系のバランスが崩れ、ひいては私たち人間生活にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

●野外への拡散を防ごう

ツボカビ感染拡大防止のため、両生類を飼育している人には大きな責任があります。けっして飼育個体を捨てたり、逃がしたりしないこと、水槽内の水は消毒してから廃棄すること、飼育資材も十分に消毒し適正管理を行うてください。

魚や爬虫類など他のペットのエサとして、あるいはペット

トとして飼育している両生類がツボカビに感染すると、水槽内の水も菌で汚染されてしまいます。感染したカエルを野外に逃がしたり、捨てたりした場合はもちろん、水槽の水が下水や川などに流れてしまうと、ツボカビ菌が野外に流出してしまうことになります。死んでしまった個体を土に埋めても、そこから菌が拡散します。一度、自然界へツボカビ菌が流出してしまうと、野生の両生類への感染の広がりを防ぐのは現段階では不可能です。

水槽の水替えについて

水槽内の水を廃棄する前に十分な消毒をしてください。5リットルの水に対して、5%濃度の塩素系漂白剤50ミリリットルを加えて、15分以上置いた後に廃棄してください。そうすることで、「ツボカビ」の野外拡散を防ぐことができます。なお、ツボカビ症の症状が出ていない場合でも消毒を実施してください。

【ツボカビ相談窓口】

野外へのツボカビ菌拡散を防止するために、環境省と沖縄県獣医師会では、相談窓口を設置しました。飼育している両生類や野生で観察された両生類の状況について、お気づきの点がございましたら、下記へご相談ください。

【ツボカビに関するお問い合わせ先】

(社)沖縄県獣医師会



ツボカビ相談窓口 電話098(853)8001



環境省那覇自然環境事務所